



鹿児島大学生による出前授業！野方小児童ら裁判について学ぶ



▲大学生らによる模擬裁判（実演）の様子

9月12日（火）、鹿児島大学 法文学部 法政策学科 刑法ゼミの皆さんが野方小学校の6年生に対し、『裁判』に関する授業を行いました。

はじめに、裁判における登場人物の紹介とその役割について説明しました。その後『正当防衛』に関する模擬裁判が開かれ、児童らは尋問の様子を真剣なまなざしで見っていました。

児童らは検察側と弁護側それぞれの立場で、なぜ有罪（無罪）なのかを考え、その理由についてお互いに発表し合いました。

大隅地域の暮らし体験で環境施策の取り組みを学ぶ！

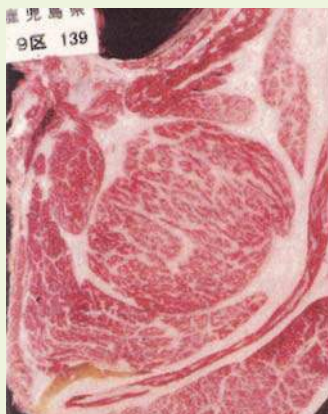
現在、大隅半島4市5町の農山漁村で体験や宿泊、買い物、食事などに利用できる『おおすみ暮らし体験お試し券』が販売されています。

9月13日（水）、3名の方が本町の環境に関する取り組みを学ぶため、(有)そおりサイクルセンターの施設見学や座学研修、リサイクルカレットアート体験を行いました。その後、おおさき食農交流館において、『菜の花エコプロジェクト』で生産された菜種油『ヤツタネ!菜ツタネ!!』を使用した料理を堪能しました。



▲リサイクルカレットアート体験をする参加者

枝肉キロ単価5万円超！



▲霜降り美しい最高級の牛肉

鹿児島県が団体優勝を飾った全国和牛能力共進会（9月）の去勢肥育牛の部において、優等賞1席・最優秀枝肉賞に選ばれた牛が競りにかけられ、キロ単価5万1円の価格となりました。（牛1頭に換算すると約2,475万円）

この牛は本町の東 幸二さん（東干草）宅で生まれ育ったもので、鹿屋市の薬師成人さんが肥育し鹿児島県代表として出品されました。

本町で生産された牛が全国第1位となり、かつ史上まれに見る高値で取引されたことは、本町産の牛の名声が高まることに期待が寄せられます。